

□講義科目(専門科目)

科目名	精神保健福祉論(隔年開講科目、2023 年度開講)	2単位
担当者	大谷 京子	
テーマ	精神保健福祉領域における実践、現状と課題	
科目のねらい	<p><キーワード> 精神保健福祉、 ソーシャルワーク、 地域生活支援、 実践理論、 障害者福祉の理念</p> <p><内容の要約> 精神障害が日本の歴史の中でいかに扱われてきたかを概観し、それが現状にどのような影響を落としているかを学ぶ。またソーシャルワーク実践の基礎となる理念、理論についても議論する。その上で、精神障害者の不利益を知り、生活支援のあり方を検討する。 事例を題材としながら、精神障害者に対するサポートの現状と課題を検討したい。</p> <p><学習目標> ①日本の精神保健福祉の現状と課題を説明できる。 ②障害の概念・障害者福祉の基本理念を理解する。 ③精神保健福祉に関連するテーマについて、議論し、まとめ、プレゼンテーションできる。</p>	
授業の進め方	<p>第1回 オリエンテーション / 第2回 精神障害者の生活実態 第3回 精神障害者家族の置かれている状況 第4回 障害概念の変遷1 / 第5回 障害概念の変遷2 第6回 障害の社会モデルの考え方/ 第7回 精神障害者の権利擁護 第8回 ソーシャルワーク実践が依拠する理念と理論 第9回 エンパワメントとパターンリズム 第10回 チームアプローチ 第11回 精神障害者地域生活支援の事例検討 第12回 地域精神保健福祉活動の方法 第13-14回 受講者によるプレゼンテーションおよびディスカッション 第15回 まとめ</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>□プレゼンテーションについて 後半の授業で、精神保健福祉の現状と課題について、グループで10分程度のプレゼンテーションをしていただきます。たとえば「いかに効果的にチームアプローチを展開できるか」、「精神障害者に対する偏見をなくすためには」など、テーマは自由です。2時間ほど、グループでの検討時間を授業時間内に提供しますが、それだけでは足りませんので、授業時間外での準備が必要になります。</p> <p>□初回授業の時に、あらかじめ参考文献の中から1冊を読んでレポートを提出してください。 日本の精神保健福祉がたどった特殊な歴史と現状を踏まえ、その原因は何かについて考察してください。タイトルは自由です。A4用紙に40文字×40行で1600文字以内です。</p>	
本科目の 関連科目		
テキスト	テキストは利用せず、プリントなど資料を用意する。	
参考文献	<p>芹沢一也(2005)『狂気と犯罪 なぜ日本は世界一の精神病国家になったのか』講談社。 岡崎伸郎(2020)『精神保健医療のゆくえ一制度とその周辺』日本評論社。 大熊一夫(2009)『精神病院を捨てたイタリア捨てない日本』岩波書店。 ヒーザー・スチュアート(2015)『パラダイム・ロスト』中央法規出版。</p>	
成績評価 方法と基準	レポート(40%)、プレゼンテーション(30%)、コメントカードの提示(30%)によって評価をおこない、全体で60%以上を合格とする。	